

イベント開催のリスクに対応する保険

バンクーバー冬季オリンピックが中止になったら2300億円（\$2.5B）の損失！！

悲喜こもごも数々のドラマ・感動を生んだバンクーバー冬季オリンピックも無事終了しました。新型インフルエンザ、地震、テロ、天候などの理由でオリンピックが中止になった場合のリスク対応はどうなっていたでしょうか。実際に今大会直前に雪不足でトラック300台分の雪が競技コースに運ばれました。IOCでは2014年冬季五輪までのシリーズをカバーするイベント保険を手配していましたが、それとは別にバンクーバーオリンピック組織委員会でも中止の場合の損失を2,300億円（\$2.5B）とみなした独自のイベント中止リスクに対応する保険を手配していました。NBC放送ではオリンピックが中止になった場合のテレビ放映権の損失を750億円（\$820M）と予測して保険手配をしていました。

2月12日に開幕したバンクーバー冬季オリンピックの公式練習中に事故でリュージュのグルジア代表選手が亡くなるという、痛ましい開会式前の事故でしたがその後の安全対策に影響を与えることになりました。一般に有名スポーツ選手に事故が発生するとスポンサーは各種費用損害を被ります。たとえばテレビCM出演料、広告・販売促進費用、選手の差し替え費用などがあります。

イベント保険（興業中止保険）では、・・・

上記オリンピックや企業が契約する有名選手が主役となるイベント（有料講演会等）で、契約選手自身がイベントに出演できないリスクに対応します。しかしながら、出演者の事故・病気等偶然な事故による不出演に限定されており、所謂スキャンダルおよび出演者のきまぐれ（出演者の意志に起因するものをいい、例えば反道徳的行為により社会的に非難され、出演者が活動を自粛する行為）については免責となっています。そこで、ゴルフのタイガーウッズのスキャンダルの余波を受けアメリカの損害保険会社には、新規開発された「スキャンダル保険」の引き合いが盛況とのことです。

2008年、タイガーウッズのゴルフによる獲得賞金額は770万ドルでしたがコマーシャル出演料は1億2000万ドルに達し、ゴルフの実力よりイメージパワーで15倍以上の収入を得ていたわけです。ところが、今回の女性スキャンダルでスポンサー企業が次々と契約の破棄を検討せざるを得なくなりました。CMスポンサー企業はナイキ、ペプシ、AT&T、アメックス、ジレットやアクセンチュアなどの大企業です。米国では、このようにセレブのスキャンダルに備えた新しい保険商品の開発が進んでいます。タイガーウッズのようなスーパーヒーローを使って企業イメージを高めていた企業が突然のイメージダウンにより、そのブランドが大きな損害を受けた場合に保険で対応しようとする商品です。110年の歴史を誇りブロードウェイのほとんどのミュージカルに係わる保険を扱い、エンターテインメント関連リスクへの対応を得意とするニューヨークの保険ブローカーであるD社では、事前にコマーシャルに使う人物のライフスタイルを慎重に調査し、リスク管理を徹底させた上で、保険の引き受けや当該新商品開発に取り組んでいるとのことです。それに比べて、日本の保険会社にも、このような新しいリスクへの対応が期待されることです。

【興行中止・イベントに係わる保険（All Risk対応タイプ）】

★ 偶然な事由によって興行・イベントが中止・延期となった場合、既に支出した費用や、中止・延期に伴い必要となる臨時費用に対応します。（喪失する利益を対象とすることも可能です。）

地震による興行中止、テロによる興行中止も、諸条件によりましては対象にする事が可能です。

興行中止、イベント中止の

- ・ 降雨、強風、吹雪、霧などの悪天候
- ・ 病気や集団食中毒・交通事故による出演者の欠場
- ・ 交通機関の不通による観客の来場不能
- ・ 大規模地震の発生などの偶然な事由

★ その他

- ◆ 会場施設そのものの構造上の欠陥や管理の不備、もしくは運営上のミスにより、入場者など第三者の身体・生命を害し、または財物を損壊したことにより生じた法律上の賠償損害への対応。
- ◆ 借用不動産について貸主に対して損害賠償請求を負担することによって被る損害への対応。
- ◆ 第三者から借りたり預かったりした物（受託物）を保管している間に火災・盗難・取扱い上の不注意などによる破損により、貸主や預け主に返還できなくなった場合、法律上の賠償責任を負担する事によって被る損害への対応。
- ◆ 入場者やイベント参加者が興行中、イベント中に被った傷害につき、死亡・後遺障害保険金、入院保険金・通院保険金への対応。

【ニュースに関するお問い合わせ先】

銀泉リスクソリューションズ(株) E-mail/ solutions@ginsen-risk.com

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-9-14 TEL03-5226-2301 FAX03-5226-2609